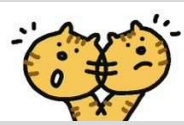


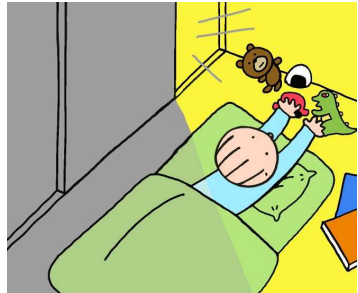

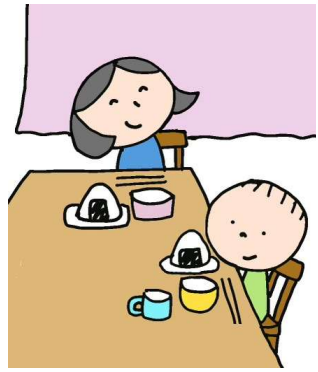

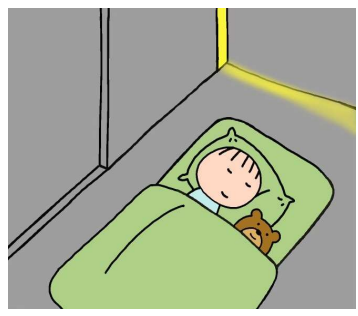


パトレ入門⑥ ～環境の力～



A(先行状況)が B(行動)に与える影響に注目して環境を調整しましょう。
～行動のABC～については、パトレ入門⑤をご覧くださいね。

環境調整
(行動が起きる
前の工夫)

様々な場面の A(先行状況)	食事のとき	片付けのとき	寝るとき
<p>×</p> <p>こんな環境は 情報やタスク が多く、気が散 って集中する のが難しい。</p> 	<p>こどもの席から玩具がよく見える。 テーブルの上に食事とは関係ないものがある。</p> 	<p>玩具の数が多い。 細かく分類して収納するルールで、片付けている。</p> 	<p>玩具が手にとりやすい。 部屋が明るく、テレビの音などが大きく聞こえる。 就寝時間がまちまち。</p> 
<p>○</p> <p>こんな環境に 変えると、シ ンプルなので 集中しやすく こどもにも 分かりやすい。</p> 	<p>玩具が見えない向きに座らせるか、玩具の棚に布をかける。 テーブルの上に物を置かないようにする。</p> 	<p>玩具の数を減らす。 箱に入れるだけでOK！まとめて置いておけばOK！ といった簡単なルールにする。</p> 	<p>玩具は見えないようにするか、別の部屋に置く。 部屋を暗くし、テレビなどは小さい音量にするなど家族にも協力してもらう。 就寝時間を決める。</p> 

(目安として)1歳は、箱に入れられたらOK！2歳は、分類するのは2種類まで。3歳以上は徐々に分類も上手になりますが、複雑になるほど片付けのハードルが高くなります。大人の手伝いがなくても片付けられるように、お子さんに合ったルールにすると、ほめるチャンスが増えます。

玩具の量は、全部出してもこどもが自分で簡単に片付けられる量が目安です。自由に出し入れできるところに置く玩具を、大人がときどき入れ変えるようにすると、飽きずに遊べます。

片付けが苦手なお子さんほど、シンプルな環境設定がやる気を起こさせます。

